

pronity40/30/120=A/B/C

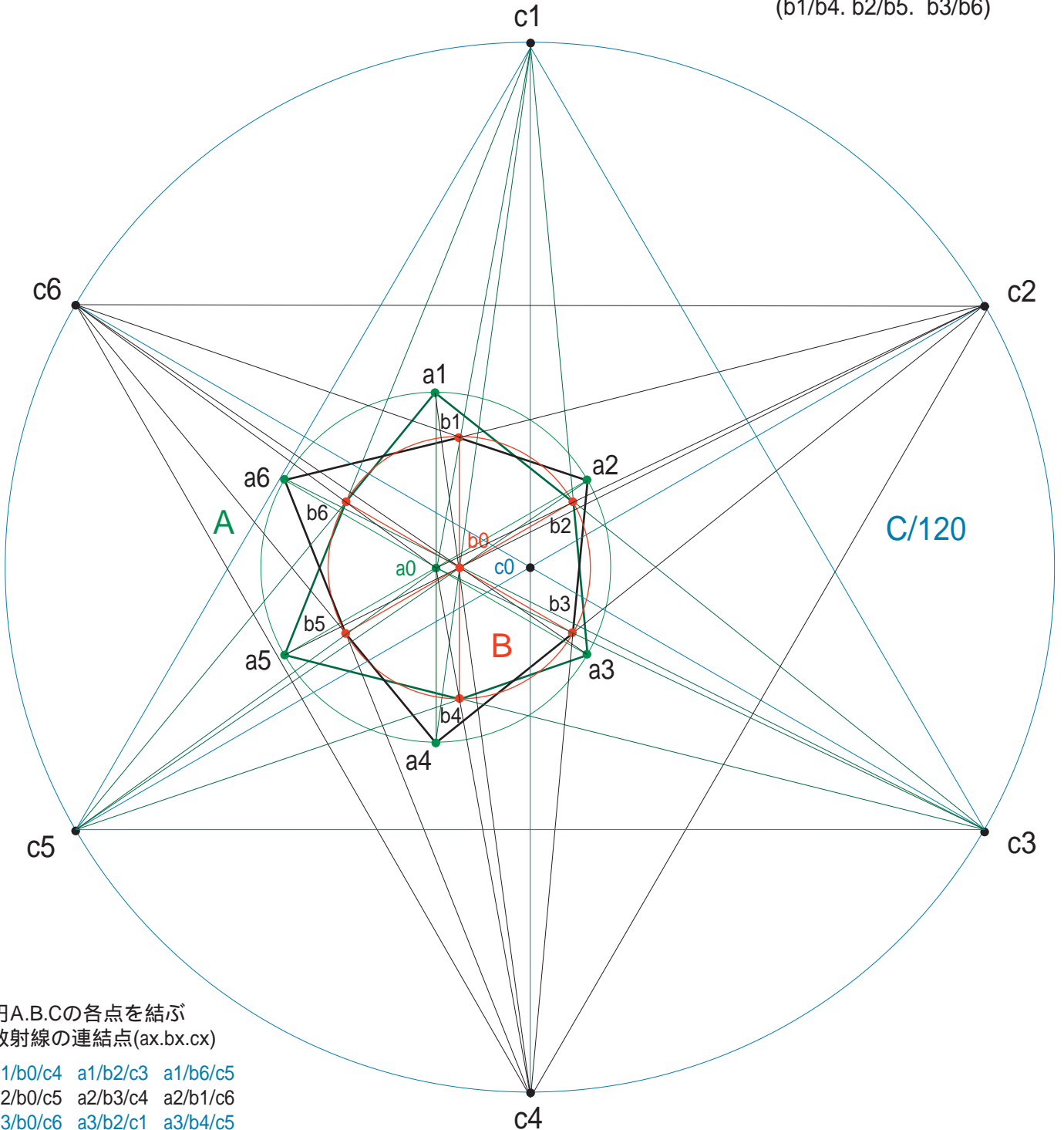
3つの円周上のそれぞれ6つの相対する点の関係

円A.Bのそれぞれ6等分された円周上の点を<交互>に結ぶと2つの6角形が出来る。この2つの6角形の対辺は、それぞれ3方向に収束し、円Cの円周上の6点に<交互>に交わる。交互と言う性質は60度の回転を意味し、正三角形と逆正三角形の関係に置き換えられる。円A.B.C内接する3組の正逆の正三角形は、平行する3本の辺を一組とすると、6組の平行線の関係に置き換えられる。

<ヘキサグラムを構成する正逆の正三角形の頂点は、外接する円の3本の直径の端点である>

3つの円(A.B.C)に内接するそれぞれ2つの正三角形(ヘキサグラム)の頂点は、3つの円の60度に交差する3本の直径の端点と同じである。正三角形の各辺は、円の半径の1/2に直角に交差する線分(半径*R3)である。

c1.c3.c5を焦点とする6角形、a1.b2.a3.b4.a5.b6と、c2.c4.c6を焦点とするb1.a2.b3.a4.b5.a6は180度回転した鏡像関係となり、相対する点是对角に位置する。(a1/a4. a2/a5. a3/a6) (b1/b4. b2/b5. b3/b6)



円A.B.Cの各点を結ぶ
放射線の連結点(ax.bx.cx)

- a1/b0/c4 a1/b2/c3 a1/b6/c5
- a2/b0/c5 a2/b3/c4 a2/b1/c6
- a3/b0/c6 a3/b2/c1 a3/b4/c5
- a4/b0/c1 a4/b3/c2 a4/b5/a6
- a5/b0/c2 a5/b4/c3 a5/b6/c1
- a6/b0/c3 a6/b1/c2 a6/b5/c4

- a0/b1/c1 a0/b2/c2
- a0/b3/c3 a0/b4/c4
- a0/b5/c5 a0/b6/c6